

平成28年度第1回四街道市総合教育会議議事日程

日時：平成28年5月26日（木）

午前11時から

場所：市役所第二庁舎第2会議室

開 会

- 1 市長挨拶
- 2 協議事項
（1）学校施設について
- 3 報告事項
（1）教育サポート室の活動報告について
- 4 その他
- 5 閉会

平成28年度第1回四街道市総合教育会議会議録

日 時 平成28年5月26日（木） 午前11時～

場 所 四街道市役所第二庁舎第2会議室

出席者 市長 佐渡 齊
委員 長 平野 穎範
委員 長 職務 代理 者 田中友季子
委員 員 花井 育代
委員 員 荻津 雅史
教 育 長 高橋 信彦

出席職員 教 育 部 長 小高 博信
教育部次長（政策調整担当） 横山 正彦
指 導 課 長 笹岡 良雄
教 育 総 務 課 長 荻野 武夫
教 育 総 務 課 主 幹 白鳥由紀雄

傍聴人 1名（男性0名 女性1名）

開会宣言

教育部長

○教育部長 それでは、定刻になりましたので、市長、よろしくお願ひいたします。

○市長 それでは、平成28年度第1回四街道市総合教育会議を開催いたします。

本日の協議事項は、四街道市の学校施設について、具体的には千代田中学校の状況につきまして皆様方のご意見を賜りたいと思います。

また、平成28年6月から各学校の空調施設が稼働する予定でございます。当初の予定どおり、全ての設置工事が5月いっぱい完了する予定でございます。現在運転確認が行われており、6月から使用できる状態になると報告を受けております。

それでは、早速本日の協議事項、学校施設について、千代田中学校の大規模改造事業につきまして、まず事務局から現況報告をお願いし、そして皆様方のご意見を賜りたいと思います。

それでは、事務局からお願いします。

○教育総務課長 私から千代田中学校の現況についてご説明いたします。

それでは、お手元にお配りしてございます図面等をご覧ください。千代田中学校でございますが、校舎は2棟ございます。グラウンド側が南棟、正門側が北棟となります。南棟につきましては、昭和50年に建設され、築約42年が経過しております。鉄筋コンクリートづくりの3階建てで、延べ床

面積3,759平米でございます。1階部分につきましては、職員室、校長室、保健室、木工室等が入っております。2階部分につきましては、普通教室として使用できる部屋が4室、そのほかコンピューター室等が入っております。3階部分につきましては、普通教室として使える部屋が6室、そのほか図書室等が入っております。

続きまして、北棟でございますが、昭和54年に建設されており、築約38年が経過しているところでございます。こちら鉄筋コンクリート3階建てで、延べ床面積2,801平方メートルでございます。1階部分につきましては、普通教室として使える部屋が4室、そのほか理科室等が入っております。2階部分につきましては、普通教室として使える部屋が4室、そのほか多目的室等でございます。3階部分が普通教室として使える部屋が6室、そのほか音楽室等が入っているところでございます。

それでは、添付しております写真をご覧ください。

まず、①の写真でございますが、こちらは体育館側から見た北棟と渡り廊下の部分でございます。②の写真も同じ場所から見ました南棟の北面でございます。多少の黒ずみ等が目立った状況となっております。続きまして③の写真は北棟の屋上でございます。一部防水補修の跡が見えるかと思えますが、平成25年、26年に一部補修を実施しております。続きまして、④の写真でございますが、南棟のベランダの写真でございます。塗装の剥がれ等があるものの、モルタルの剥離等は見られない状況でございます。続きまして、⑤の写真でございますが南棟をグラウンド側から見た状況でございます。亀裂等の部分的な補修の跡が多く見える状況でございます。これにつきましては、平成22年にモルタルの一部剥離が発生しましたので、全面的にわたり補修を実施した跡でございます。続きまして、⑥の写真でございますが、南棟のグラウンド側のトイレの軒の部分でございます。鉄筋の膨張等によるモルタルの剥離が見られるところでございます。続きまして、⑦と⑧、こちらにつきましても南棟の外壁でございますが、一部モルタルの剥離が見られるところでございます。

続きまして、資料2枚目をご覧ください。⑨につきましては、南棟の1階昇降口の天井でございます。続きまして、⑩も南棟の1階、金工室の天井でございます。こちらは1階部分でございますが、校舎の継ぎ目等の劣化が目立つところでございます。続きまして、⑪、⑫、⑬の3枚につきましては、北棟3階の廊下とランチルームの天井の雨漏りによるしみの跡でございます。先ほど申し上げましたが、北棟の屋上につきましては平成25、26年に一部修繕を実施しておりますが、その修繕をしていない部分につきましては、一部で雨漏りが発生している状況でございます。続きまして、⑭、南棟3階の軒下の部分でございます。こちら鉄筋の露出が出ている状況でございます。続きまして、⑮と⑯でございますが、こちらは昨年1月6日に発生しました外壁の剥離の状況でございます。南棟3階の軒下部分でございますが、この落下物につきましては3階の軒の部分で、1階までは落ちないで3階の窓枠の部分に落下していたのが発見されております。全体的に外壁の剥離等による落下につきましては、その1件だけでございまして、そのほか必要な修繕等は実施してございまして、現在のところ危険な箇所はないと考えております。南棟の3階部分につきましては、今のところ雨漏り等の確認はされておられません。

続きまして、工事関係の経緯でございますが、両校舎とも平成16年に耐震補強工事が実施されております。両校舎とも耐震は済んでおります。大規模改造の関係でございますが、ご承知のとおり市内の学校につきましては昭和50年前後に建てられた校舎が多くございます。平成19年までは順次それらの大規模改造を実施してきたところでございますが、千代田中学校についてはまだ実施はさ

れておりません。ただ、千代田中学校につきましても、平成18年に大規模改造を実施すべく設計しております。委託金額約1,700万円で実施設計を委託して実施いたしました。内容につきましては、保健室や図書室などの移転を含めた大規模な改修が予定されておりまして、工事の費用といたしましては2カ年で約4億1,000万円の工事費が想定されておりました。しかし、この時期に耐震基準を満たさないほかの学校の校舎の建てかえ等が優先されたことにより、千代田中の大規模改造工事は実施されておりません。ちなみに、他校の建てかえにつきましては、平成20年に南小学校、平成23年に旭小学校、平成26年に栗山小学校の建てかえが実施されております。千代田中学校の大規模改造工事につきましては平成26年に、平成18年度に実施した設計、その内容で単価の見直しと空調設備の設置、また照明灯のLED化も含めた設計を実施しております。また、四街道市前期基本計画の第3次実施計画において、平成29年から31年度までの3年間で総事業費約5億7,060万円を予定しているところでございます。ただ、ご承知のとおり市の財政は平成26年度決算の経常収支比率が県内ワーストワンの98.4%という状況になりましたので、経費の削減等、各事業の見直しが行われているところでございます。担当課といたしましては、いずれ千代田中学校の大規模改造工事は実施しなければいけないと考えている状況でございますが、今後の市財政の改善状況を見込みながら工事の実施時期、また実施範囲について適正な判断をし、市の公共施設等総合管理計画に位置づけていく必要があるものと考えているところでございます。

現況につきましては以上でございます。

○市長 市長は予算編成や執行、それから条例の提案についての権限を持っています。教育委員の皆さん、教育委員会におかれましては、教育の政治的な中立性、継続性や安定性を担っております。ですから、四街道の財政が厳しいということで、予算の編成上のいろんな壁があるのですが、教育委員会との意思疎通を図りながら、地域教育の課題やあるべき姿を共有し、これからもより一層民意を反映した教育行政を推進していくというのが総合教育会議の目的でございます。今日はこういった千代田中学校の現状をふまえ、これからどう対応していくのか。教育委員会としては、大規模改造工事を実施しなければならないということで一生懸命努力していると思うのですが、耐震補強が平成27年度でやっと市内全部終わりましたので、これから大規模改造工事をどう進めていくのか皆様方にご意見を賜りたいと思います。

事務局から千代田中学校の現状について説明がありましたが、確かに部分的な雨漏りやコンクリートの剥離がございますが、その都度維持補修工事を行い対応しています。この維持補修工事での対応も限界に近づいてきますので、大規模改造をやらなければいけないと認識しています。今回、結論を得るような状況にはならないと思いますが、それぞれのお立場から忌憚のないご意見いただければと存じまして、総合教育会議の議題に上げさせていただきます。荻津委員、千代田中学校のお近くにお住まいですが、ご意見ございますか。

○荻津委員 大規模校であった時代から比べ、現在は空き教室がかなりあるという状況もあり、事務局より報告されましたように、学習環境としてはあまり適切ではない状況がたくさん出てきているかと思えます。また、千代田中学校には様々なボランティア活動をしている方もいらっしゃいますし、地域の方にとっても学校というのは非常に大事な施設にもなりますので、そういうことから改善を要望する声は大変多いと思っております。まず一番に、安全面で危険がないように措置をし

なければいけないと思うのですが、併せてより快適な学習環境にするということは子どもの将来にとって大事なものです。ただ財政的な背景もありますので、検討していただきながら、早目に改造ができるように、それまでは少なくとも安全面で問題が起きないように措置をとっていただけたらと思います。

また、資料にはなかったのですが、たしか調理室の上でしたか、雨がちょっと降りますと雨水がたまってしまうような状況があったと思います。不衛生な水がいつもたまっていると子どもが目にしてしまうこともありますので、対策が急がれると思います。

○市長 今荻津委員が言われるのは北棟校舎の配膳室の話だと思うのですが、どんな状況か事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長 すみません、確認はできていないのですが、ただ屋上の排水設備の詰まり等が原因かと思いますので、水がたまれば掃除等によりそれぞれ水抜きができるように措置してまいります。

○市長 荻津委員から配膳室についての情報が得られましたが、特に千代田中学校で気になる点など、何か情報はございますか。

花井委員、お願いします。

○花井委員 雨水が溜まってしまうのは、北部共同調理場ではなく、千代田中学校敷地内のという意味でおっしゃったのでしょうか。

○市長 北部共同調理場で給食をつくって、千代田中学校に持ってきて、配膳室のエレベーターを使って各階に配膳するのですよね。先ほど荻津委員からお話があったのは配膳室のことではないでしょうか。

○荻津委員 多分この図から見て、配膳室ではないかと思います。正確ではなくて済みません。

○市長 私ども市長部局の考えを申し上げますと、四街道市は公民館や図書館などの公共施設がありますが、公共施設の中で一番利用効率の悪い施設は小学校、中学校なのです。なぜかというと、夏休みが来れば教室は使いません。それから、子どもたちが下校した、夕方5時以降は施設を使わないですね。図書館は夜7時、公民館や文化センターは夜9時まで利用されています。そういった相対的に見てみると、小中学校ほど公共施設の中で利用効率が悪い施設はないのです。したがって、小中学校の利用率をいかに上げて効率的に使うか、例えば地域の方々へ部分的に余裕教室や体育館を開放するなど努力しているのですが、子どもたちの教育環境の確保、特に外部から不審者が侵入してきたりしたら困りますので、学校も適正に管理しなければなりません。なので、どうしても夏休みとか子どもたちが下校した後とか、そこを100%使えるかといえば、当然いきません。そういう矛盾が常に小中学校にはあるのです。先月、千葉市の熊谷市長とある会合で会ったのですが、四街道市さんは今年の夏からエアコン入りますね。しかし、千葉市はエアコン入れませんとおっし

やっていました。これは熊谷市長の方針です。四街道市の約10倍は学校がありますので、精査したところ、80億かかってしまいます。しかし、金額の問題ではなくて、小中学校のエアコンは放課後、夏休みと冬休みにはせっかくエアコンを入れても使わない、こういう効率の悪いところにエアコンは要らないというのが私の方針だとはっきり言われてしまいました。確かにそういう考え方もありますが、子どもたちの学習環境を良くしなければいけない、そのためにエアコンが必要なのだという、そういう考え方も当然あるわけです。小中学校は確かにエアコンを使う時間帯が他の公共施設に比べたら時間としては短いですが、子どもの教育環境を整備するという意味で四街道市はエアコンを入れました。考え方が大きく2つに分かれるところです。どちらの考え方が正しいか正しくないかというのは、いつまで議論しても平行線になってしまうと思います。

今、荻津委員から図面の話がありましたが、千代田中学校の資料2枚目を見て、私の感想を率直に言わせてもらおうと、例えば北棟の1階はPTA会議室以外使っていないのではないかという印象を持っています。それから、理科室が第1、第2、第3と3つもあるのです。美術室も2階に第1、第2美術室があって、3階には音楽室が第1、第2と2つもあるのです。美術室とか理科室とかそんなに複数必要なのだろうかというのが私の率直な感想です。確かに千代田中学校は北棟も南棟も2階、3階は普通教室が入っていますけれども、北棟の3階なんかはランチルームが4つもあるのです。ランチルームって本当に4つも要るのでしょうか。現在の千代田中学校のような使い方は、今、日本全国で一般的なのですか。各委員の皆さんの率直なご感想をお願いします。子どもの数がどんどん減って、学校の教室が余っているのが当たり前なのでしょうか。

平野委員長、お願いします。

○平野委員長 千代田中学校は、団地がつくられて人口が増えた結果、建て増しも含めてこういう形態になったと思うのです。生徒が満杯のときはプレハブが必要になる状態で、その後団地の高齢化が進むにつれて団地に人が帰ってこないという循環ができています。生徒数はそんな変わらないですが、一気に増えて一気に減ってしまうと、使われていない老朽化した校舎が必ず増えてくる。佐倉市の角栄団地がありますが、同じように上志津中学校も最大時は1,300人いたと思うのですが、大規模改修をやったのは現状の生徒が利用している第1棟だけです。そこに理科室や音楽室を作って、他の棟は後の計画で解体するか生徒数が増えた場合に大規模改修を行うかという、2段階の大規模改修を行いました。その市の財政や市の予定もあると思うのですが、今後の千代田中学校の大規模改修をやる場合も、先ほど教育総務課長が言われましたが、18年に設計が立てられて26年に追加の設計が立てられるということは、10年前から大規模改修が必要とされてきたわけです。予算上の問題もあるわけですが、現状の段階で補助金の問題、大規模改修は国の補助金の対象になってくると思うのですが、補助金の交付についてはどのような状況なのでしょうか。建物の規模に補助金がつくのか、あるいは現状の生徒数に応じた規模数に対する補助金なのか、その辺のところはどのようになっているのでしょうか。

○市長 環境整備の交付金について事務局より説明をお願いします。

○教育総務課長 交付金につきましては、必要面積に応じて単価が決まっておりますので、その単価に基づきまして交付金が算定されるのですが、補助率は3分の1でございます。ただ、この単価

が現在、国で低く組まれておりますので、実質的な工事に対する割合としては5分の1ぐらいの金額しか国からの交付金として出てこないという状況です。

また、近年の状況でございますが、ご承知のとおり耐震補強、耐震関係の事業が優先的に今まで交付金がついていました。一応の見込みとして、前年度で終了する予定なのですが、まだ積み残しが県内でも大分多く出ている状況ですので、この大規模改造事業の交付金がどの程度要望に対してつくかというのは、現状では非常に厳しい状況であると思います。

○市長 平成18年度、今から10年前に1,700万円ほどで千代田中学校の大規模改造工事の設計をやっていますね。そのときは、当時の市長さんや議会のご判断で、設計は行ったのですが、ほかの学校の耐震補強を優先するという結論になったと私は聞いています。例えば中央小学校なんかは大規模改造と耐震補強を同時に行っています。よって、大規模改造と耐震補強を併せてやっているところと、千代田中学校のように耐震補強しかやっていないところが確かにあります。やっていないのは、千代田中学校と八木原小学校ですか。耐震補強は終わっているけれども、大規模改修はやっていないのですよね。

○教育総務課長 そうです。耐震は全部終わっているのですが、大規模改造が終わっていないところは、今千代田中学校、八木原小学校、旭中学校です。

○市長 でも、旭中学校の状態はまだ良いのでは。

○教育総務課長 そうですね。旭中学校の状態はまだ良いかと思います。急がれるところについては千代田中学校と八木原小学校です。

○市長 千代田中学校の大規模改造については、平成26年度にもう一度平成18年度の設計を基本として設計を行っているのですが、結局3.11の東日本大震災が起きてから、例えばこの大規模改修とか改造工事とかエアコンの設置工事とかいう教育施設の環境整備の部分は文部科学省がほとんど予算を持っていないのです。全国の小中学校校舎、体育館の耐震補強をすることということで、耐震補強関係の予算は財務省から獲得しているのですが、環境整備関係は予算がほとんどありません。この大規模改造、環境整備関係の予算は県内で27年度、国から補助金何カ所ぐらいついていますか。たしか、ほとんどついていないのだよね。

○教育総務課長 去年の新規分としてはついていません。継続の部分はついたかと思うのですが。

○市長 ついていないのだよね。だから、霞が関などでロビー活動も行いましたが、大規模改造関係については、文部科学省はいい顔をしないのです。エアコンが良い例で、エアコンをつける補助金も結局はつきませんでした。千葉県内を見渡しても、どこもつかないのです。ですから、リース方式に切りかえて他の自治体もエアコンをつけるようになったのです。エアコンをリース方式に切りかえた場合に、国の補助金はつきません。つまりエアコンという設備を借りるということは、その市の財産になるわけではないので、補助金はつかないのです。また、エアコンをリースでやった

場合、かなり安い金額で、国が補助金出したときと同じようなぐらいの負担で終わってしまうのです。ですから、小中学校のエアコン設置については、文部科学省の補助金をもらおうということで予算計上させてもらったのですが、補助金がつかなくても途中で予算を組みかえてリース方式にすればできるという見通しがあったので、27年度に予算をつけたのですが、問題は大規模改造なのです。大規模改造は予算がつかなかったら、切りかえてリース方式にはいきません。また、熊本地震が4月14日から起きてしまったので、今後も正直に申し上げまして大規模改造、教育施設の環境整備関係についての文部科学省の補助金はちょっと厳しいです。やるとしたら、市が単独でやるしかないです。

○平野委員長 今、市の財政状況が厳しい状況なのは理解していますが、物井駅周辺で新しい団地がつけられていますよね。現状では将来的に見ればその団地の子どもたちが千代田中学校へ入学することが見込まれます。それから、耐震措置はされていますが、現在の校舎は万が一地震が来た場合に住民が避難することに耐えられる状況なのですか。

○市長 地域の人たちが避難するのは体育館ですので、体育館は大丈夫です。そういう状況だよ。

○教育総務課長 はい。体育館も校舎も一応耐震基準は満たしておりますので、今の基準上は大丈夫と考えています。

○平野委員長 生徒の授業のほうも大丈夫でしょうか。

○市長 教育長、お願いします。

○教育長 現在の耐震基準については全校舎が対応しておりますので、その基準以内の地震であれば全く問題ないと言えます。ただ、熊本でもありましたが、震度7が2回、それから震度6も数回、その後震度5以上が四十数回という地震というのは想定外です。耐震基準はクリアしている、これは言えると思いますので、そういう面では問題ありません。

○市長 事務局にお伺いしたいのですが、先ほど基準面積掛ける基準単価で文部科学省の補助金がありますよね。例えばこの図面にあるように、千代田中学校の3階にはランチルームが4つありますが、ランチルームが4つ必要だと文部科学省は認めてくれるのでしょうか。基準面積に算入されるのでしょうか。それから、理科室も第1、第2、第3とありますが、3つも理科室が必要なのかといったチェックはされないのですか。

○教育総務課長 大規模改造の補助金につきましては、現有施設の面積に応じて交付されますので、教室が何に使われているかまではその基準に入っていないかと思います。

○市長 備蓄庫も現有面積として入ってくるのですか。

○**教育総務課長** はい。学校施設の面積として県に登録してありますので、対象の面積になると思います。

○**市長** わかりました。
教育長、お願いします。

○**教育長** ただ、やっぱり内容は精査する必要があると思います。平野委員長がお話しされたように、使わない部分までもやる必要はないと思います。

○**市長** 私もいろんなところから千代田中学校の大規模改造を早くやってほしいとのお話を伺うのですが、建物の利用実態などを考えていない意見が非常に強いのです。それから、平成27年7月6日にコンクリートが1カ所落ちていますよね。すでに補修をしていますが、これが原因でベランダに出られないから大規模改造をやってほしいとのお話を伺います。教育長、中学校は文部科学省の指導で原則ベランダには出ないように指導しているのですよね。

○**教育長** ベランダで生徒の落下事故等が過去に発生しておりますので、教師の許可なくしてはベランダには出ないことになっています。これは恐らく全国同じ基準だと思います。

○**市長** 様々な意見を伺うのですが、この千代田中学校の校舎の利用実態とか、ベランダは教師の許可がなければ出られないなどの事情を知らないために誤解が生じています。ただそれを一々説明しても理解しない人はしません。
教育長、お願いします。

○**教育長** ベランダと同様に、屋上についても今は一切出さないというようになっておりまして、屋上に関してはベランダより厳しく指導しています。これは、全国で同じです。

○**花井委員** よろしいでしょうか。

○**市長** 花井委員、お願いします。

○**花井委員** 千代田中学校の大規模改造は、2つの面から先を見越して考えていかないといけないと私は思っています。1つの面は、まず安全面及び環境面について。このコンクリートが剥離したという問題は、やはり今後どのような地震が起きるかわからないので、ほかの箇所でも可能性があるのではないのでしょうか。また日々雨漏りの対応をするために教職員の皆様方非常に苦労されています。私が訪問するたびに何とかならないでしょうかとお話を伺います。実際確認しましたら、腰壁なども剥離していて、環境としては非常に良くない状況で子どもたちが勉強をしています。ですから、安全面及び環境面で子どもたちが勉強に集中できる、また教職員の人たちも学校教育に集中できるような環境を整えるべきではないかと思います。

もう一つは、先ほど平野委員長からもお話がありましたもねの里ですが、非常に大規模な工事を

して、四街道市としてもシティセールス上多くの方に四街道市に移り住んでいただくということを目指しています。その中で、実際に四街道市を見に来て、南小学校へ行ってみたら、きれいだな。一方、千代田中学校はといたら、何だこれはということになったのでは、やはり移住するにあたって二の足を踏まれる方も多いのではないかと思います。そして、大規模改造も、千代田中学校の施設がどうか、そういう小さいことではなく、八木原小学校も含めて、あの地域全体の学校としてどうあるべきなのかを考えるべきではないでしょうか。そうすることで魅力のあるまちができ、多くの方に移り住んでいただけるのではないかと思います。また、教室数も適正なのかなど、いろいろな問題があると思いますが、四街道市として多くの方に移り住んでもらうのだという考え方を市長はお持ちですので、そこも考慮してはいかがでしょうか。

○市長 平野委員長、お願いします。

○平野委員長 かつて八木原小学校は千葉県一大きな小学校だったのです。ですから、その当時の施設設備がそのまま今残っていて、それが老朽化してきています。施設全てを大規模改造するのか、あるいは今後の児童生徒の見通しを立てた上で一部分は大規模改造し、そのほかについては解体、整理するという考え方も必要だと思います。施設全てを大規模改造する場合は、相当費用がかかるのではないのでしょうか。

○市長 事務局としては、もねの里への転入を踏まえて、今後のクラス増ほどの程度を見込んでいますか。

○教育総務課長 学級数につきましては、今後6年間程度、平成33、34年ごろの千代田中学校のクラスは今よりプラス3クラスぐらいになるのではないかと算定しております。現在13クラスですので、16クラスになると見込んでおります。

○市長 この図面を見ると北棟の3階にランチルームが4つありますよね。このうち3つが埋まるということですか。

○教育総務課長 そうです。

○市長 今、平野委員からお話がありましたが、学級数が3つ増え、13クラスが16クラスになった段階で、施設の必要な部分と不必要な部分が出てくるのではないかと思うのですが、その検討状況はどうですか。

○教育総務課長 そうですね。おっしゃるように、3クラス増えると3階部分のランチルーム3クラス分が必要になってくると考えております。その中でどの部分が不必要な施設なのかですが、北校舎の1階部分については現在の活用状況の中では、不必要な施設といえるのではないかと感じます。

○市長 北校舎の1階部分であればP T A会議室、南校舎の1階部分であれば職員室、保健室、放送室、印刷室、この程度が必要で、あと要らないという判断でもいいのですか。北校舎と南校舎の1階は余り有効に活用されていない印象を持ちますが、教育現場としては必要なのですか。

○教育総務課長 南校舎につきましては、職員室や保健室などについては学校に必要な施設です。

○市長 ですね。職員室、保健室、放送室、印刷室は必要だと思いますが、そのほかは必要あるのでしょうか。

○平野委員長 今この場で、必要、不必要の判断をするのは、なかなか難しいと思うのですが、今後大規模改造を行う場合に、予算上も含めてもう一度検討する必要があるのではないのでしょうか。

○市長 財政課と教育委員会が議論しているのはその辺の問題なのですよね。大規模改造を全施設行って、余剰教室を残していいのですかというのが財政課の意見ですよね。

○平野委員長 全てを大規模改造した場合、すごい金額になりますよね。

○市長 花井委員、お願いします。

○花井委員 市長がこの教室は要るのでしょうか、この倉庫は要るのでしょうかということにこだわられる理由がいま一つよく分からず伺っているのです。というのは、大筋として、やはり大規模改造は行うべきであり、それを精査して考えていこうということを考えていらっしゃるのか、あるいは財政課との問題で、これだけ要らないものがある中で、大規模改造を行うと市長としては言えないということをおっしゃっているのか、本意を教えてください。

○市長 四街道市は、公共施設等総合管理計画を28年3月に策定しました。四街道市が持っている公共施設で一番面積が多いのは小中学校なのです。あとは公民館、文化センター、図書館などがありますが、そういった建物の総面積を20%減らすという計画をつくりました。それは、将来人口が減ってくる、それから今後のこれまで建設してきた建物の維持管理、それからまたリニューアル、学校ですと大規模改造、こういった財政的なもの全てを総合的に検討して、公共施設建物の床面積を20%減らすという計画です。これは、議会に説明して、また市民の皆さんにもパブリックコメントで意見をもらってまとめ上げた計画なのですが、小中学校もやはりその総合管理計画の例外ではないのです。仮に校舎を縦に分割して、3分の1を撤去することが可能であれば、ぜひやってもらいたいのです。例えば今年着工します白井市の庁舎なのですが、今ある庁舎が4階建てで耐震構造上弱いのです。そのため、隣に新たな白井市役所をつくるのですが、残った旧市役所は4階部分をみんな取ってしまうのです。残った3階部分を引き続き市役所として利用するのです。これを減築というのですが、建物を必要面積だけにして効率的に使うことで、維持管理経費も安くするという考え方のもとで、要は要らない部分は取りまして撤去してしまうのです。本市もそういう方向性で公共施設等総合管理計画をつくりましたので、できれば平野委員長がおっしゃったように本当に必

要な部分を大規模改造するという議論にしてもらいたいのです。千代田中学校を大規模改造する必要があるのはわかります。ただ、本当に必要な部分を明確にしてもらわないと、これから議会も市民もなかなか納得しないのではないかなと思います。今県のほうに届け出ている学校の校舎面積は、資料のとおりだから、これら全てを大規模改造するという時代ではないと思うのです。私の真意は以上です。

花井委員、お願いします。

○**花井委員** トータルでマイナス20%を目標にするとしても、例えば北校舎の大規模改造をやめて、南校舎のみにするというのでは60%ぐらいの面積になってしまいますよね。

○**市長** これは極論ですが、北校舎は取り壊して、南校舎だけでやってもらうというのが一番いいのです。現実には教室が足りなくなってしまうから不可能ですが。

○**花井委員** 南校舎だけでは、現在の生徒数でも入りきりませんよね。

○**市長** そうですね。技術屋としては校舎を縦に分割して3分の1を撤去するというのは可能なのでしょうか。費用の面などいかがですか。

○**教育総務課主幹** 一部分の撤去というのは白井市の例のように可能だとは思いますが、ただ、壊すことによって残った部分、屋根や壁の新設などの費用だとか解体費用を含めた工事費をかけてまで減築したほうがいいのかという結論であれば、それはそれで可能だとは思いますが、部分的に壊すとすると、壊す際の振動などの問題がありますので、あまり一部分だけ取り壊すというのは、私としてはやってほしくないと思います。ですので、平たく言えば全部壊して改修するだとか、あるいは北校舎か南校舎のどちらかを大規模改造するというのが一番よろしいと思います。3階部分だけだとか階の一部分だけ取り除くというのは非常に工事をする上でもなかなか厳しいところがあると考えております。

以上です。

○**市長** 平野委員長、お願いします。

○**平野委員長** 私案ですが、教育長にお願いする面も多いと思うのですが、八木原小学校、千代田中学校、北部調理場がありますが、移転など将来展望を考えて、大規模改造を行った際に、小中で体育館を併用する形をとるなど、小中一貫型の施設ではなくて、併設のような形でいくことも可能かと思えます。印西市の滝野中学校、滝野小学校や白井市の桜台中学校、桜台小学校でも施設を併設し共有しています。このように予算の面でも少し縮小しながら、施設的を有効活用し、全体計画を立てていってはいかがでしょうか。とりあえず補修の必要はありますが、特に大きな地震が起きない限りは維持できるのであれば、施設の併設を含めた将来計画を立てて、予算上でも検討を進めていく必要があるのではないかと思います。

○市長 千代田中学校の大規模改造工事につきましては、事務局で検討を進め、次の総合教育会議の議題としてまた皆様方のご意見をいただきたいと思えます。

続いて議事日程3、報告事項。(1)教育サポート室の活動報告に入ります。事務局より説明をお願いします。

○指導課長 指導課長の笹岡でございます。着座にて報告させていただきます。

私から4月1日より新設されました、指導課分室の教育サポート室の現況について報告させていただきます。青少年育成センター施設内に教育サポート室が開設されたことで、各小中学校にとっては教育相談、生徒指導に関しての連絡が一本化され、情報を指導課と青少年育成センターで共有することが自然にできるようになり、支援体制の強化が図られるようになりました。例えば不登校の保護者から教育相談についてもサポート室専任指導主事と青少年育成センターの青少年育成指導教員とが連携して対応しており、このことから4月の青少年育成センターへの相談件数は昨年度の12件から37件に増加しました。さらに、これまで青少年育成センターで対応してきました生徒が教育サポート室と連携したことで学校教育相談室「ルームよつば」に通室ができるようになったり、反対に「ルームよつば」に通室していた生徒が複雑で難しいケースを抱えている場合もございますので、そういったときにスクールソーシャルワーカーと連携して対応したりすることができるようになるなどの効果が上がっております。課題については、今後も相談件数の増加が見込まれることから、相談時間や場所等の確保が難しくなってくる事が挙げられます。

以上でございます。

○市長 教育サポート室が4月からオープンして、昨年度の相談件数は12件でしたが、今年度は37件ということで、約3倍に相談件数が増えたと報告がございました。

小学校へのスクールカウンセラーは1名増えているのですよね。それはどんな状況ですか。

○指導課長 現在スクールカウンセラーにつきましては県からの派遣が7名、市からの派遣が2名です。小学校については、県からの派遣が四街道小学校と大日小学校、市からの派遣が和良比小学校と中央小学校ということで増えておりますが、単に保護者の相談を受けるのはもちろんなのですが、そのほか教員がどういった対応で子どもに対応していったらいいかというようなこともスクールカウンセラーと相談しているというような報告が上がっております。

以上です。

○市長 スクールカウンセラーが28年度に1名増えましたが、それは大日小学校でしたっけ。

○指導課長 大日小学校です。

○市長 県から派遣してもらい、1名増えたのですよね。

○指導課長 はい。

○市長 子どもたちへの教育相談や、生活関連についての相談が増えていますが、教育サポート室、それから各中学校には全てスクールカウンセラーがいるのですよね。

○指導課長 はい。

○市長 ただ、小学校は全校にはいないのですよね。

○指導課長 そうですね。まだ12校のうち4校への派遣となっております。

○市長 ちょっと厳しい状況ですよね。

○教育長 ただ、12校のうち4校なのですが、そこに常駐して当該校の相談しか受けないということではなくて、教育サポート室ができたことによって、教育相談を各学校の要望に応じてスクールカウンセラーを派遣しております。

○市長 今、市で採用しているスクールカウンセラーは、和良比小学校と中央小学校でしたっけ。和良比小学校のスクールカウンセラーが線路の南側の相談、中央小学校のスクールカウンセラーが線路の北側の相談を担当している状況ですね。

○教育長 そうです。

○市長 和良比小学校のスクールカウンセラーは、吉岡小学校や山梨小学校へ相談に行っているのでしょうか。

○教育長 派遣しているという報告は聞いています。

○市長 皆様方からもご意見伺いたいと思います。何かございますか。
花井委員、お願いします。

○花井委員 相談体制を厚くするというのは、もちろん予算はかかるのですけれども、それ以上に効果があり、そして教職員の方も気軽に相談できる体制が整ったというのは、非常に良いことだと思います。それによってメンタル面の負担が減ったかどうか、そこまではわかりませんが、同じ教職員同士で相談し合いながらするべき仕事もありますが、やはり個人的にカウンセラーと相談して負担を軽減することも必要なことですので、ぜひこれは最低限維持していただきたいと思います。

○市長 スクールカウンセラーは、文部科学省が都道府県に交付金を出し、都道府県が採用してその県下の市町村の学校へ派遣するというシステムなのです。3、4年前に文部科学省から都道府県に対するスクールカウンセラーを雇った場合の補助率を2分の1から3分の1に減らしているのです、時代に逆行したようなことを文部科学省は行っているのですが、28年度は県で採用したスク

ールカウンセラーを1名大日小学校に派遣しています。千葉県にも配慮していただき、教育長以下皆さん、ご努力されたのだと思います。しかし、市の採用したスクールカウンセラーは補助金を出してくれません。ちょっとその辺が頭の痛いところです。

それでは、以上で議事日程3、報告事項、(1)教育サポート室の活動報告については終了いたします。

続いて、議事日程4、その他に入ります。皆様よりなにかご意見等はございますか。

田中委員、お願いします。

○田中委員 6月からエアコンを導入していただき、学校へどんな状況か視察に行きましたが、いつでも使える状況になってきたと思っております。私も子どもを持つ親ですので、子どもの教育環境の改善ということで、とてもありがたく思っています。今年の5月は暑い日が続いていて、子どもたちは、汗を流して頑張っている状況で、四街道市にエアコンを導入していただき、四街道市にお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

○市長 ありがとうございます。子どもたちに私からお願いというか、自然に湧き上がってくることを期待しているのは、こうやってエアコンがついているのはお父さんやお母さんや大人の人たちが税金を払っていただいたおかげだと感じてもらいたいのです。大人の皆さん、納税者の皆さんへの感謝を言ってもらおうと、お年寄りなんかみんな喜ぶのではないかなと思います。自分の子どもが社会人になって子育てが終わってしまいますと、今ごろエアコン入ったって関係ないと思っている方がいらっしゃいますが、今の四街道市の小中学生は納税者、大人の皆さんに感謝してもらえたら、非常に助かるなと感じます。

その他になにかございますか。

なければ、以上をもちまして、第2回四街道市総合教育会議を終了させていただきます。

それでは、事務局からお願いします。

閉会宣告

教育部長

○教育部長 皆様ありがとうございました。また、市長におかれましては、進行お疲れ様でした。本日の日程は、これで全て終了いたします。本日はありがとうございました。

署 名

四 街 道 市 長

佐 渡 齊

四街道市教育委員会教育部長

小 高 博 信